

篠山市公民館だより 第31号 四季の森通信

発行元
篠山市立中央公民館
篠山市網掛429
TEL079-594-1180
館長 谷掛昭二
平成30年2月21日

Topics =最近の出来事=

「高齢者大学、学校へ」

～児童と共に学ぶ、世代を超えた新たな学びの場～

核家族が増え3世代が関わる機会が減っている昨今、平成27年に篠山市が策定した教育大綱では「高齢者大学を学校でおこなうことで、高齢者と子どもが共に学びあう交流を通じて子どもたちの多様な価値観が生まれ、学習意欲の高まりにもつながる」としています。

これを受け篠山市高齢者大学では、昨年度より幼・小・中学校との連携事業をおこなっており、今年度も7つの学園がそれぞれの地域で連携事業を行いました。

事業内容と参加した児童・高齢者大学生の声を紹介します。

《注釈》

- 児：児童の感想
 - 大：高齢者大学生の感想
- それぞれ実施後のアンケートより



あおやま学園

12月12日 岡野小学校3・4年生と「演劇塾くろまめ」の皆さんによる、岡野地区の昔と今を“遊び”で繋ぐストーリーのお芝居の鑑賞と、昔遊びで交流した。給食交流も。



児

- ・おじいちゃん、おばあちゃん100人くらいと一緒に遊ぶことは1回だけかもしれないから思い出です。覚えときたいです。
- ・私のおばあちゃん、おじいちゃんは三田にいますのであまり会えないけど、こういう交流会があって、うれしかったです。

・ゴムとび知らなかった。

【趣味講座でも連携】

- ・篠山小学校2年生と絵手紙講座
 - ・城北畑小学校5・6年生と俳句講座
- 受講生が俳句の作り方を伝授しました。

大

- ・学ぶことの方が多かった様に思います。私たちが子どもの頃とは違って、恥かしくて下を向くような子どもさんがいないなあと。先生に名前を呼ばれて赤い顔をして下を向いた私だったことをなつかしく思い出しました。

たき学園

10月26日 多紀小学校4・5・6年生と落語家桂團治郎さん他2人による古典落語を鑑賞した。



児

- ・お笑いが好きだが落語は初めてだった。とても面白かったので、また見てみたい。

大

- ・小学生は元気がよくて、パワーをもらった気がする。

【趣味講座でも連携】

4・5・6年生が合同で、俳句・書道・太極拳講座に分かれて受講しました。

児

- ・俳句は季語とかの使い方が難しかったが、自分の俳句を褒められてうれしかった。
- ・書道を優しく教えてくれて、ありがとうございました。大人の書道も楽しかったです。
- ・太極拳がカッコよかった。いろんな技をもっと教えて欲しい。

大

- ・俳句は、子どもの感性がすばらしかった。
- ・楽しそうに書道に取り組む姿勢は、学ぶべきものがあった。
- ・太極拳では小学生がとにかく元気で、ついていくのがしんどいくらいだった。

川柳

応募数 16名39句

最優秀句

腹立てば そこでひとまず 深呼吸
野間 竹本恵美子

お題「怒」

北野哲男選

☆「怒り」の題はないが

優秀句

天秤に 怒ると叱る 乗せてみる
油井 酒井昌宏

☆心の予(よ)猶(ゆう)

男なら ここで怒ると 負けになる
今田町下立杭 浅野清子

☆忍の一字

腹立てず 心丸くで うまく行く
野間 竹本恵美子

☆自分自身へ

次々号のお題「窓」4月30日×切

中央公民館・城東公民館・多紀支所・西紀支所・今田支所までご応募ください

一生勉強一生青春

Vol.20

生涯学習活動にまっくら！懸命に励まれている方を“数珠つなぎ方式”でご紹介します。今回登場した方が「エールを送りたい」と思う人を、次回ご紹介します。…次は、あなたかも！？

久保田幸さん (住吉台)

「『まちの子はみんなわが子』子育て支援がライフワーク」

中野母親クラブのメンバーとして15年近く、また読み聞かせの会「かたつむり」や味間小学校のブックサポーターとしても、長年活動されている久保田さん。自分の子育てを地域の人たちに支えてもらった経験から、今度は支える側に立ち、地域の子どもの成長を見守っておられます。子育て支援が彼女のライフワークとなっています。

中野母親クラブは「まちの子はみんなわが子」をモットーに丹南児童館を拠点に活動しています。丹南児童館では布の人形での遊びを通して、子どもたちの想像力や思いやりの気持ちを育てるために「TCプロジェクト2017」としてウォルドルフ人形作りに取り組んでおられます。私たちはそのメンバーとして人形を作り、その人形で遊べる環境を整えるお手伝いをしています。

仲間と楽しく進めながら人のお役に立ち、地域の子どもの笑顔が見られることがとてもうれしいです。若いお母さんにも是非仲間になっていただきたいです。

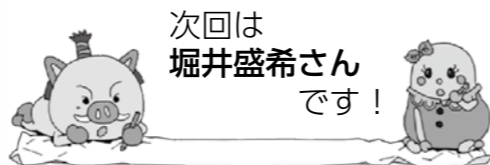


【記者より】

地域に久保田さんのような方がいてくださると、お母さん方も安心ですね。

子育て支援のボランティア以外にも、ゴスペルや書道・農業と、自分の趣味にも熱中されていて、それぞれの仲間との関わりが楽しくて毎日が充実していると、イキイキと話してくださいました。

次回は 堀井盛希さん です！



次のバトンはこの人に託します！

もうすぐひな祭、そして桃の節句ですね。この節句は赤ちゃん(女の子)の初節句をお祝いする日でもあります。男の子は端午の節句にお祝いします。ですが丹波地方は、かつて4月3日に男女一緒にお祝いしていたことはご存知でしょうか。また子どもの賢く健やかな成長を祝って、親類縁者からは色とりどり天神人形が贈られ、ひな壇にはこの天神人形を中心に飾られていたようです。現在もこの風習を大切に今でも4月3日に向けてひな人形を飾るご家庭もあるのではないのでしょうか。

地域の歴史や風習を知り、お国自慢ができる人が増えたら、もっと、まちに活気が溢れるのではないだろうか…と思いを馳せております。あるある博覧会や実物写真館が名物コーナーになりますように!! (久)

四季の森通信のバックナンバーを置いています。ご希望の方は中央公民館まで

羽束学園&かやのみ学園

10月25日 城東小学校全校児童と落語家桂園治郎さん他2人による落語の鑑賞と、落語の所作や表現方法を学んだ。受講後、名札の交換も。

児

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが勉強しているとは思ってなかったのですごいと思いました。
- ・横にいなかったので話せなかったけど、笑顔で「ニコッ」としてくれたのでうれしかったです。
- ・少ししか話ができなかったの、今度はもっといろいろな話を話したいです。

大

- ・活発な皆さんでとても明るい子どもさんでたのしいです。
- ・物おじしないで質問に答えようとする児童がたくさんおられて、活気があってとてもよかったです。



たんなん学園

12月21日 味間小学校4年生とキーボードアンサンブル「ふらう・むじーく」の皆さんによる音楽会。歌と手遊びで交流した。

児

- ・私はお年寄りはいあまりしゃべらないと思っていたけど、すごくしゃべってくれてとてもうれしい。将来おばあちゃんになったらこんなおばあちゃんになりたい。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんも勉強や行事がいっぱいあることを今日知りました。

大

- ・長い間児童と接することが無く、何を話したらいいか…と思いつつもなんとなく心が明るくなりました。ファイトがわいてきた。
- ・とても優しいお子さんと、私の手が冷たいので温めてあげようと、しっかりと手を握ってもらい、うれしかった。

【趣味講座でも連携】

- ・城南幼稚園園児とフラダンス講座
- ・ワクワクカーニバルで「アロハウクレレ」の踊りを園児に伝授し一緒に踊りました。
- ・城南小学校6年生と俳句講座、5年生とスポーツ吹矢講座、それぞれ一緒に給食をいただき、各講座をおこないました。



しゃくなげ学園

10月20日 西紀南小学校5・6年生と市民活動グループ「みんなで減災し隊！」の皆さんによる防災・減災の学習。児童と大学生を班分けし、クイズ形式で身近な防災・減災について楽しく学んだ。

児

- ・日頃のあいさつが減災につながるということがわかったので、今日知り合えた方もしっかりあいさつしたい。
- ・高齢者大学の人たちと一緒に考えて発表するのはいい体験になりました。
- ・高齢者大学の方と協力し合って一つの答が導き出せたので良かったです。今日学んだことは家の人に話したい。
- ・なじみのない高齢の方と同じグループになり、はじめは緊張したが、話しをするにつれ、教えてもらうことがあったりして仲良くなれた。

大

- ・小学生ならではの視点で答えを考えていくなかで、防災・減災について共有することができてよかった。
- ・福島県から西紀北へ避難されているみなさんともつながっていききたい。



さぎそう学園

10月17日 今田小学校5・6年生と音楽療法士の梅谷浩子さんによる、音楽交流。リズムに合わせて体を動かしたり、いろいろな打楽器でリズムを刻んだ。



児

- ・おばあちゃんが友だちみたいに話しかけてくれてとてもうれしかったです。
- ・いっしょに授業をして、今までにない楽しさを味わえました。また出会うことがあれば嬉しいです。

大

- ・久しぶりに若い子と手をつないで、若返ったみたいです(笑)
- ・孫のような子どもたちと一緒に学ぶ機会をもてて大変よかったです。

Support = 各種団体の支援報告 =

自分たちの「成人式」をプロデュース!

1月7日、たんば田園交響ホールで開催した成人式には、368人が参加しました。

開催に当たっては、5人の実行委員さんが「自分たちでつくる成人式」をめざして、9月から20回近くの集まりを重ねました。

「お祝いステージ」で演奏していただく曲選びから、上映するダンスの練習、収録、また、当日は受付や司会進行も担当し、自分たちの成人式の盛り上げに一役買いました。

実行委員の一人小林千夏さんは、「仕事との両立は大変でしたが、終わった後とても達成感があり、20歳の良い思い出になりました」と満足そうに話してくれました。

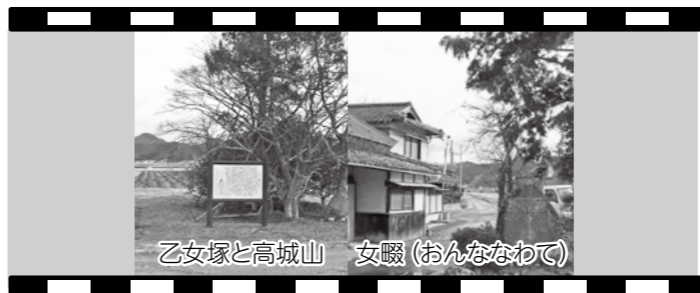
来年度の成人式は平成31年1月13日(日)です。成人式を迎えられる方で、自分たちの成人式をプロデュースしたい!と思う方は是非公民館までお申し出ください。今からでも大歓迎です。



仕事の後、寒い中ダンスの練習を重ねました。

第3回 篠山のむかしばなし実物写真館

「八上城と乙女塚、女囃」(城南・野中)



公民館事業「市民文化講座」でも取り上げた「戦国時代」のお話です。むかし、「丹波富士」と呼ばれる高城山には、波多野秀治の住む八上城がありました。

天正2(1574)年、織田信長は明智光秀に「八上城を落とせ」と命じますが、いくら攻めても城を落とすことは出来ません。

光秀は「自分の母親を人質にするから…」と講和をもちかけ、秀治をだまし討ちで殺してしまいました。秀治が殺された後、ついに八上城落城の時がせまりました。明智の厳しい囲みを破り、城下から西へ伸びる畷道を落ちのびて行く女子供の団の中に、秀治の幼君「甚蔵(じんぞう)」を抱いた忠節な乳母、「一路(いちろ)」の姿もありました。

燃えあがる城に振り向きながら、やっと野中まで逃げてきた時、1人の腰元が主君秀治の最後を思い、その場で自害してしまいます。

この腰元を葬った所を「乙女塚」と言い、乳母や腰元たちが落ちていった道を「女囃」と呼ぶようになったということです。

このお話は、「丹波・篠山のむかしばなし3集」でも「八上城物語」として紹介されています。

※畷道(なわてみち) 田の間をゆく細い道、あぜ道

「新しい年、今年健康を祈り走る!!」 ～今田地区・多紀地区の元旦のマラソン、 篠山市新春駅伝大会～

今田地区と多紀地区では元旦に新年を祝うマラソン大会が行われました。市体振では1月14日(日)に新春駅伝大会が行われ、参加者は新年から自らの目標の達成に燃えていました。

・今田元旦マラソン大会

新春の光の中、上立杭周辺(レギュラーコース(3km)、らくらくコース(1km))を154人が走りまし。また、昨年篠山市功労者表彰を受賞した県立西脇工業高等学校の陸上競技部男子11人が今年度も招待され、地域の方々と楽しい時間を過ごされました。【1月1日(月)開催】



・ファミリー初もうで大会

ハートピアセンターから熊野新宮神社までを往復する約5kmのコースを60人が走りました。折り返し地点の熊野新宮神社では全員で大伴家持の新年祝賀の歌を唱和しました。マラソンの後は豚汁で体を温め、その後のお楽しみ抽選会は大いに盛り上がりしました。【1月1日(月)開催】



・第16回篠山市新春駅伝大会

市内19地区(小学校区)対抗の駅伝大会として、平成11年度から始まり今年度で16回(途中、荒天による中止がある)を迎え、17チーム(12地区)が参加しました。当日は、前日から降り積もった雪がありましたが、役員で除雪、融雪剤を撒いてコースを整備しました。優勝は、大山地区(2大会ぶりに2度目の優勝)、準優勝は今田A(前回優勝)となりました。【1月14日(日)開催】



第3回 ささやまあるある博覧会

名前を呼ばれて「なんじよ(じえ)」

初めて見るものに「なんじよ(じえ)」

「なんじよ(じえ)…」万能調味料並に活躍する言葉。単に「What is it?(これはなんですか?)」と疑問の意味だけでなく感嘆の意味合いもあります。また、「じよ(じえ)」は、単独で他の単語の語尾につくこともあります。

- 「どこ いっきょんじよ(じえ)?」
- 「なに しとんじよ(じえ)?」
- 「なに 食べとんじよ(じえ)?」

とにかくこの「じよ(じえ)」は篠山には不可欠な言葉のようです。男言葉と女言葉という表現をするならば、その是非はともかくとして、篠山における男言葉の代表が「なんじよ!」ではないでしょうか。「なんじよ」は少し優しい言い方で女性的に聞こえます。これは、男女問わず使用されます。※前号(30号)の当コーナーにおいて「じよ」を使用した例文がありますが、その間違いに気づかれたは何人おられるでしょう?